

サブセクター	中項目	民間連携の可能性
復興・再建に向けた安全確保	地雷・不発弾対策 がれき管理 シェルター整備	● 地雷影響地域の特定技術：衛星画像解析、ドローン測量、AI による危険エリア識別技術 ● 人的被害を発生させない地雷除去技術：地中レーダー（GPR）、高性能金属探知機、遠隔操作ロボット（UGV）、自律型除去機器 ● がれき量・種類の把握が可能な技術：移動式破碎・選別装置、再生骨材化技術、建設廃棄物処理プラント ● がれき処理用重機・機材：小型クラッシャー、ふるい分け装置、がれき活用舗装補修材 ● 人的被害を発生させないがれき処理技術：有害物質検出センサー、作業環境モニタリングシステム、防護装備技術 ● 短期間・低コストで建設可能な住宅供給技術：プレハブ、3D プリンター建築
インフラの再建	生活インフラ （電気/ガス/水道）	● 代替性のある電力供給製品：太陽光発電、蓄電池、マイクログリッド、非常用自立電源システム ● 安定電源とバックアップ電源製品：高効率蓄電池、非常用発電制御、病院・浄水場向け無停電電源、遠隔監視付き電源管理 ● 安全な飲料水と生活用水の確保：小規模浄水装置、地下水処理、配水監視、漏水管理システム ● 給水拠点の設営設備：井戸ポンプ、簡易浄水、コミュニティ給水設備 ● 下水道設備を短期間で復旧する技術・製品：非開削の管更生技術、プレキャストマンホール
	社会基盤 （道路・橋）	● インフラ整備：各種建設重機、建設機械用アタッチメント ● 道路・橋梁の応急復旧・整備技術：汎用性組立橋梁、土壌硬化剤 ● 機材の維持補修・強化技術：機材補修技術（めっき処理など）、鉄鋼加工技術、高強度金網 ● 損傷度合の診断システム：衛星を活用した被害状況把握サービス、ドローンを活用した画像診断・点検サービス
行政能力の向上と 市民参加の促進	ガバナンス能力向上	● 効率的な行政運営のための情報通信基盤：情報通信機器（PC、タブレットなど）、AI 等を活用した行政サービスの効率化支援サービス ● 危機管理・情報分析システム：AI を活用した防災、危機管理等のシステム、センサー等を活用し廉価で安全が確保できる防災システムや 各種行政に関する情報分析システム、紛争影響地や難民受入れ地域の施設配置、土地区画整備等の検討を支援する空間情報デジタル地図
生活の再建と 経済の再活性化	経済基盤の再生 就業の維持・確保 雇用の創出	● 農業生産・加工：現地の限られたインフラや悪環境でも使用でき簡易的に操作できる農業機械 生産性向上資材・技術 収穫後処理・食品加工機材 現地の環境でも育成が可能な農産物の育成 ドローン等を活用した農地の管理システム ● 漁業：限られたインフラや人的リソースで活用できる漁業技術・機材 電気がなくても衛生的に海産物を保存できる加工技術や資材 ● 運輸・物流サービス・金融事業：輸送用車両・バイク、ラストマイル物流サービス バイクタクシー等小規模事業者向け金融支援 ● 未利用資源の再資源化・エネルギー化：農業廃棄物からの燃料・製品製造技術（もみ殻、バナナ茎等を活用した二次加工品等） ● 新規産業・現地産品の高付加価値化：カカオ豆等現地の特産品や収穫が容易な農産物等の生産・加工に関する製品・技術

	教育サービス	● 仮設教育インフラ:段ボールやコンテナ等を活用した簡易設置型仮設校舎 ● 学習支援システム・教材:学習支援システム・教材(遠隔・オフライン対応のもの等)、ソーラーパネル付きタブレット
	職業教育/人材育成	● 職業訓練・就労支援:各種職業訓練プログラム(IT、料理など)オンライン等の学習支援システム・学習プラットフォーム ● 就労支援サービス:オフショア開発サービス等オンラインでの就業機会提供や就業支援、職業あっせんやマッチング支援システム
	社会福祉/ 保健・衛生等サービス	● 医療診断・検査:ポータブル診断・検査機器(超音波、X線、血液検査機など) 遠隔診断モニター 自己触診補助具 ● 医療インフラ・設備:移動型診療所・仮設医療室 治療用機材(人工呼吸器、手術用照明など) 医薬品用冷蔵・保管設備 ● 遠隔医療・物流:遠隔医療サービス 医療品輸送システム(ドローン配送など) ● 感染症対策・公衆衛生:感染症媒介生物対策(防蚊スプレー・塗料、衣類、AI 監視システムなど) 抗ウイルス製品(塗料、シートなど) 現地環境に適合した衛生用品(消毒液、石鹼、電解水生成装置など)簡易衛生トイレ 井戸が無い所でも使える手洗い装置等 ● 栄養改善:各種栄養補助食品・サプリメント 現地生産可能な栄養食品 現地の食生活にあった機能性食品 ● 社会福祉・メンタルヘルス:福祉・介護サービス 福祉用具 メンタルヘルスケア関連製品
難民・国内避難民支援	難民・国内避難民の生活支援/難民の受け入れ支援	● 人道支援オペレーションの最適化:ドローンおよび衛星画像解析技術を用いた、流入人口の規模・動態の把握と、最適な物資配給ルート・方法の分析。 ● 短期間・低コストで建設可能な住宅供給技術:プレハブ、3D プリンター建築 ● 受益者管理と支援の透明性確保:虹彩認証等の生体認証技術の活用による、支援対象者の正確な識別、人口動態管理、および現金給付等における決済の透明性確保。 ● 難民とホストコミュニティの社会統合を目的とした生計向上:難民および受入国側コミュニティ(ホストコミュニティ)双方を対象とした、キャンプ周辺の土地を活用した農業生産支援。